

## 学長のコラム

### 来年度受審予定の認証評価について

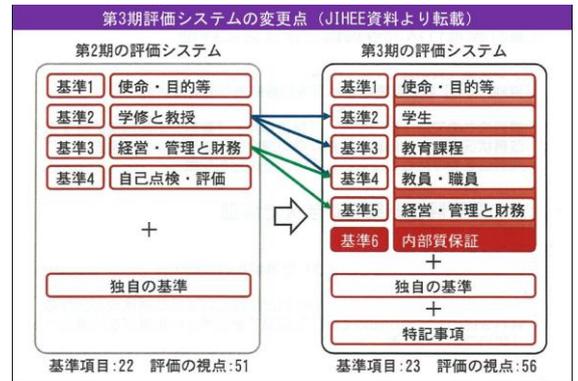
教職員の皆様、7月21日（日）のオープンキャンパスではご苦労様でした。悪天候にも関わらず、多くの高校生、保護者の方々の参加があり、本学の良さを理解して戴けたものと思います。

さて、本稿では来年度に受審予定の認証評価について記述したいと思います。平成16(2004)年度から、全ての大学、短期大学、高等専門学校は、7年以内ごとに文部科学大臣が認証する評価機関の評価を受けることが法律で義務付けられました。評価機関は複数ありますが、本学では日本私立大学協会を母体に創設された日本高等教育評価機構（Japan Institution for Higher Education Evaluation：JIHEE）による認証評価を受審しており、第1回目を平成21(2009)年度に、2回目は平成26(2014)年度に受審致しました。それを踏まえ、3回目となる今回は令和2(2020)年度に受審することに致しました。その理由は、今年度は各役職教員の改選の年にあたり、学長（私自身）も4月に就任したばかりですので、2年目となる来年度が適切であろうという判断からです。来年度の受審を控え、JIHEE主催による評価に関するセミナー（4月16日開催、福岡）ならびにパネル・ディスカッション（7月10日、東京）に参加しましたので、概要をお知らせします。

JIHEEによる審査は時代とともに進化しており、平成30(2018)年度からは、第三期の評価システムに移行しています。第三期では、それまでの問題点を踏まえ、第二期の評価システムに大幅に変更が加えられ、特にディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの3ポリシーを起点とする内部質保証機能を重視した評価制度への転換が計られました。この基本方針に沿って、第三期では、6つの基準からなる評価基準が策定されています。図は第二期からの変更点を示したのですが、従来の4つから6つの基準となり、特に重点項目として、基準6「内部質保証」が追加されました。これに加えて、各大学が個性・特色として重視している領域に関して独自の基準を設定すること、さらに特記事項として、大学が特筆したい特色ある教育研究活動を3つまで記述することが出来ます。

7月10日のパネル・ディスカッションでは、平成30年度に受審した18大学（再評価3校を含む）の評価結果について報告があり、基準毎に改善を要する件数が示され、第3期で重視されている基準6「内部質保証」に関する改善を要する件数は9件となり、基準4「教員・職員」の14件に次いで多い件数であったことが報告されました。

来年度の認証評価に向けて、報告書の作成と並行して内部質保証体制の充実をはかって参りますので、教職員の皆様のご協力をお願い致します。なお、認証評価システムの詳細につきましては、JIHEEのホームページをご覧ください。



## 7月・8月・9月の主な行事予定

7/26 (金)	(助産) 前期授業終了
7/27 (土)	(助産) 補講日
7/29 (月)	(助産) 前期定期試験（～8/1）
7/30 (火)	(学部) 前期授業終了
7/31 (水)	(学部) 補講日
8/ 1 (木)	(学部) 前期定期試験（～8/9 予備日含む）
8/ 2 (金)	(助産) 臨地実習適格認定書授与式・祝賀会
8/ 3 (土)	(助産) 夏期休業日（～8/18）
8/ 8 (木)	米国短期海外留学説明会
8/10 (土)	(学部) 夏期休業日（～9/23）
8/11 (日)	大邱保健大学 GSLP 4名派遣（～8/20）
8/18 (日)	オープンキャンパス
8/21 (水)	日本臨床検査学教育学会（～8/23）
8/25 (日)	チャレンジ熊保大!推薦入試対策講座
8/29 (木)	私大協九州支部初任者研修（～8/30） 大邱保健大学交換研修生 8名派遣（～9/10） （※看護学科4年生1名 9/1～9/10 派遣）
8/30 (金)	情報セキュリティ研修会
9/ 6 (金)	第1回 利益相反に関する研修会
9/ 7 (土)	コンケン大学交換研修生 6名派遣（～9/20）
9/11 (水)	銀杏学園 理事会
9/12 (木)	教職員旅行※日帰り、宿泊コース（～9/13）
9/19 (木)	第1回 FD セミナー
9/20 (金)	教員会（認定）
9/24 (火)	後期ガイダンス
9/25 (水)	後期授業開始
9/27 (金)	修了式（認定）

※8/13～15、19、20は夏期休暇、8/16は出勤日です。

## 世界禁煙デー 禁煙週間イベント「禁煙川柳大会」

今年も世界禁煙デー（5月31日）に合わせて、禁煙川柳大会を開催しました。3賞の他に、学生ノミネート作品10句をレストランに掲示し、一般学生による投票形式で入賞作品を決定しました。学生ノミネート作品の表彰式では「医療系大学であるが故、禁煙に厳しく向き合う必要がある。この大会が改めて禁煙を考えるいい機会となった」という学友会会長の言葉もありました。今後も引き続き、大学をあげて禁煙について取り組んでいきたいと思っております。（文責：学務課）



**学長賞** 愛煙家 病は進む 水面下 **銀子**  
**学生委員長賞**

知ってるかい？ 無害じゃないよ 新型タバコ!! **きなこ**  
**事務局長賞** 禁煙も アプリで管理 今っばい **かかし**

### 学生投票

**第一位** 同じ値段 たばこと学食 どっちとる？ **おむらいす**  
**第二位** 愛煙家 病は進む 水面下 **銀子**  
**第三位** 「吸わないで」 子供の一言 吸いこんで **カタチから入るタイプ**

## 令和元年度科学研究費採択

令和元年度の科学研究費助成事業（挑・萌芽）に1件採択されました。おめでとうございます。（敬称略）

氏名	期間	研究課題名	交付予定額
岩村 健司	R1-3	音声言語発達障害における特性理解・情報共有レーダーチャートの開発と有用性検討	4,800,000 (直接経費)

## 進路指導者対象進学説明会

6月14日(金)に、熊本県内外の高校・予備校の進路指導者を対象とした進学説明会を開催しました。本説明会は、高校・予備校の先生方に本学を理解していただき、高校生に対してより詳しい進路指導を行ってもらうためのものです。今回は56校65名の先生方にお越しいただき、大学概要、就職支援、国家試験対策、入試概要の説明のほか、竹屋学長による公開講座『病理診断の重要性』を実施しました。(文責：広報課)



## 学友会球技大会

6月15日(土)、恒例の学友会主催の球技大会(ボウリング)がスポーツ熊本で開催されました。崎元理事長、竹屋学長をはじめとする教職員チームを含め、約165名が参加しました。始球式では崎元理事長がストライクを出され幸先の良いスタートとなりました。学友会役員準備と運営により、参加した学生たちの笑顔あふれるとても充実した大会となりました。(文責：学務課)



## 『第6回学生選書ツアー』開催！

6月22日(土)午前10時から2時間、熊本市内の書店で実施しました。

5名の学部生、教職員4名、そして竹屋学長も飛び入り参加！皆で209冊を選びました。参加者からは、「学習用から読書用まで、選ぶことができた。」「普段、時間をかけて本を選ばないのでとても新鮮だった。」「思っていたより多くの冊数を選ぶことができて驚いた。」「とても楽しかった。また参加したい。」「ホカボングッズももらえた！」という声が聞かれました。選んだ本は、本人のおすすめコメントを付けて、展示コーナーに配架します。次回は11月に開催予定です。皆さん、是非ご参加ください。(文責：図書館)



## コンケン大学交換研修生訪問！

6月1日(土)から15日(土)にかけてコンケン大学の教員1名と交換研修生6名を本学に迎えました。施設見学、講義・実習、日本語交流、文化体験などに参加し、本学の学生との充実した交流も行われました。9月7日(土)から9月20日(金)にかけて今度は本学からコンケン大学へ6名の学生を派遣します。(文責：国際交流委員会)



## ボランティアサークル Lovers

### 11年目のいのちのコンサートを「つなぐ」！！

今年で11年目の開催となるさまざまな命の物語「野田かつひコンサート」が、7月8日(月)熊本で開催されました。本学の医療ボランティア Lovers は、難病や小児脳腫瘍の患者さん、その家族の皆さんに笑顔を届けるため、シンガーソングライターの野田さんと共に、第1回目からこのコンサートをサポートしています。今年のコンサートでは、昨年合志市の岩本さんの手作り紙芝居に、学生と子どもたち、家族会の皆さんと一緒に紙芝居を作り、メロディトーンの演奏を行いました。また、写真にある「つなぐ」の文字は、コンサートに来場して下さった方々からの一言メッセージでつながっています。いのちのいのち、人と人、優しさと思いやり、さまざまな人々や思いが繋がったコンサートになりました。(写真はコンサート後、野田さんと一緒に記念の1枚です。)



(文責：看護学科 中村京子)

## 私の秘話ヒストリー

今回は環境施設管理課の岩田 昭弘さんに投稿していただきました。

私の趣味は、蘭「えびね蘭・寒蘭」を育てる事です。昭和57年に妻と結婚し、それから現在まで37年間続いています。結婚当初は、1戸建ての借家を借りていましたので、庭の一角に自分で蘭小屋を建てて、そこで栽培をしていました。仕事から帰るなり着替えを済ませ、蘭小屋に入りました。妻から「お父さん病気じゃないの」とよく言われました。考えてみれば、1年365日 当直・病気等を除き、毎日蘭小屋に入っていました。その代わりと言っては何ですが、競輪・競馬・パチンコ等に熱中することは有りませんでした。

結婚して、2~3年過ぎるころには、妻の方から、「〇〇さん宅の庭に咲いていたよ」と教えてくれるようになりました。花の咲く時期は、「えびね蘭が4月中旬から5月の上旬」「寒蘭が11月中旬から下旬」この期間は、何となく「うきうき・そわそわ」します。この時期は、各展示会場や園芸販売店に花を見に行きます。遠いところは、鹿児島や福岡の会場まで妻と展示品を見に行ったり、一人で رفتりすることもあります。趣味の仲間も平均年齢が高くなり、愛好会の中でも私は若い方に入ります。えびね蘭、寒蘭の購入費はいくら使ったのか計り知れませんが、高いもので数十万円まであり、自分の給料と相談しながらよく買いました。展示会の時には、売ることありますが、つい買うのが多い様な気がします。この趣味のおかげで、多くの人との出会いが生まれました。これからも、健康と妻を大事にしながら、趣味を続けていきたいと思います。